

[資料紹介]

## 小山松寿関係資料目録

藤 井 なつみ

本目録は、2019年度に大学史資料センターに寄贈された、小山松寿（1876～1959年、本学出身、立憲民政党所属代議士、衆議院議長）の関係資料を整理したものである。

小山は1876（明治9）年、長野県に生まれ、1895（明治28）年、東京専門学校を卒業後、厦門赴任等を経て、大阪朝日新聞社に入社、1906（明治39）年、『名古屋新聞』を創刊、新聞社経営に携わった。その一方で、1907（明治40）年に名古屋市議会議員に初当選したのち、憲政会、立憲民政党所属の代議士として中央政界へ進出し、1940（昭和15）年の斎藤隆夫による反軍演説の際には、衆議院議長としてその除名処分に関与したことがしばしば近代日本議会史において言及される。1946（昭和21）年、公職追放を受け政界を引退、その後1959（昭和34）年に死去した。

以上のように近代日本新聞界と政界の両方に大きな存在を占めた小山であるが、彼が遺した関係資料は、その死後遺族によって保管され、1990年に主要部分が「小山松寿関係文書」として憲政資料室に寄贈された。また、2019年にも新たな追加資料が寄贈された。この憲政資料室所蔵小山関係資料は、主として1901年の大阪朝日新聞社入社時から、死去する1959年までの、2000点を超える資料から成っており、その性格から立憲民政党代議士としての政治活動に関する資料と、名古屋新聞社長としての新聞社経営に関する資料との二つに大別できる。この小山関係資料のうち、新聞社経営に関する資料については、1991年から2015年にかけて、『名古屋新聞・小山松寿関係資料』（山田公平編、龍溪書舎）

全7巻として編纂・刊行されている。『名古屋新聞』の「社報」や、収支報告書などのように、新聞紙面上には表れない一地方新聞の社内事情を鮮明に伝えるものと、昭和戦中期に行われた新聞統制を新聞社がどう受け止めたのかについてその実態を語る資料とが残されている。また、これとは別に、小山自筆の講義ノートなど、早稲田大学関係・大隈伯後援会関係資料が、1987年に早稲田大学に寄贈されており、目録が『早稲田学報』976号（1987年10月）に掲載されている。

以上の小山の資料群は、小山が地方に基盤をおきつつ、中央政界をその活躍の場とした議員であった点、有力な地方新聞である『名古屋新聞』の社長としてその経営にあたった新聞人であった点から、近代日本の政治史、新聞史の両点において大きな意義を有するものといえよう。また、早稲田大学図書館所蔵の資料は、小山と早稲田大学とのかかわりについて知ることができる貴重なものである。

さて、以上の資料が小山に関する史料群の中心部分とするなら、本目録で紹介する資料は、より副次的な部分に位置するものといえることができる。本資料は、寄贈者（本稿ではその意向により匿名とする）が2017年、それぞれ別の2つの古物商が販売しているものを偶然相次いで見つけ、入手したものである（目録中「原秩序番号」に記載されているA、Bはそれぞれ購入元の古物商を示す記号である）。整理の方針としては、上述した資料の出自ごとにA、B二つに分類し、原秩序の順番で原秩序番号を振り、その後、整理によって原秩序に特に大きな意味がないことを確認したうえで、年代順に並び替えて資料番号を振りなおし、差出人・作成者と日付、内容の概略を記載した。

一覧すれば明らかなように、資料は1928年から1946年までの、主としてタイプ打ちや印刷された書簡、書類によって構成されている。そのため、おそらく重要度がさほど高くないと判断され、遺族による憲政資料室への寄贈から漏れ、その後、複数の古物業者に流出したものと考えられる。

とはいえ、肉筆の書簡も少なからず存在する。内容は日常的な雑事に関する断片的なものではあるが、衆議院議長でもあった小山の私生活などを垣間見る

上で有効なものが含まれ、タイプ打ちものものや活字のものの中にも興味深いものはいくつか存在する。

たとえば、本学にかかわる書簡として、資料番号100「細川亨介書簡」は、正確な年代が不明であるものの、当時早大高等師範部の教務主任であった佐々木八郎を、「早大教授中屈指」の存在として紹介して、その後の庇護を求めたものであり、本学教員と校友政治家との関係の一端を示すものとして興味深い。このほか資料番号102「同盟通信社中支総局書簡」、36「小山武夫書簡」、7「小野敏夫書簡」など、中国大陸から送られた肉筆書簡は、昭和戦中期に小山が有していた汪精衛（汪兆銘）による南京国民政府、及び満州国政府との関係を示している。また、資料番号12「日独伊防共協定強化同志事務所書簡」には、イタリアの「ファシスト」訪日親善使節団（黒シャツ使節団）の入京歓迎のために外務省が発行した1938年3月19日付東京駅入場許可証が同封されている。前年7月、小山は衆議院議長に就任しており、そのためこうしたものが小山にも送られていたのであろうが、資料番号27の、ヒットラー・ユーゲント訪日団の旅程終了を伝える「荒木貞夫書簡」（1938年12月）とならんで、この時期の対外関係の状況と、それが齎す政治的雰囲気を示すものとして興味深い。さらに、数点残されている請求書及び領収書は、昭和期における小山の個人的生活の実態を語るものであり、当時の生活史の一端を窺う上で有用な資料である。

以上のように、本資料は、これまで知られているものに比べ重要度が多少下がるとはいえ、個別的には興味深い内容を含むものが散在しており、他の史料と組み合わせることで新たな発見を齎しうるものが含まれていると考えられる。本稿での紹介を機として、幅広い利用を期待したい。

資料 番号	小分類	資 料 名	形態	数量	作成年月日	作成者・差出人名	受 取
1	書簡	〔岡崎久次郎書簡〕	状+綴	1 + 1	昭和3年10月13日	岡崎久次郎	小山松寿
2	書簡	〔愛国同志会書簡〕	状	2	昭和3年12月〔12日〕	愛国同志会	小山松寿
3	書簡	〔西脇晋書簡〕	状	2	昭和4年8月7日	西脇晋	小山松寿
4	書簡	〔(名古屋新聞)森書簡〕	状	3	昭和10年	(名古屋新聞)森	小山松寿
5	書簡	〔L.R.Aguinaldo 書簡〕	状	2	1936年9月10日	L.R.Aguinaldo	小山松寿
6	文書	〔昭和11年10月分小山松寿宛請求書及び領収書〕	状	8	昭和11年10月		小山松寿
7	書簡	〔小野敏夫書簡〕	状	5	〔昭和11年〕11月8日	小野敏夫	小山松寿
8	書簡	〔立憲民政党政務調査館書簡〕	状	2	昭和11年11月	立憲民政党政務調査館	小山松寿
9	文書	〔北京料理晚翠軒請求書〕	状	2	〔昭和〕11年12月16日	北京料理晚翠軒	小山松寿

内 容	備 考	原秩序 番号
<p>我党の近状憂慮にたえざるものあり不肖久次郎敢えて卑見を披きて幹部諸公の清鑑に供せんとす。田中内閣の命派頗る危機に瀕し、我党幹部諸公も政権の我党の手に帰せんか勞せずして其分配に預かる事を得べきを以て自ら事勿れ主義に傾き易く随て今日の如く総裁の威信を傷け我党を誤らしめたるもの寔に遺憾に堪えざるものあり。不肖久次郎の云う処総て、民心を引きつく可き好題目の下に其大政策を高唱して以て国民に訴え其是非の審判により以て現内閣を立憲的に倒さんとの念願に外ならず、内に党内人心の弛緩を防ぎて其鬱積せる不満を外に向け旁々我党の存在を明らかにせんを切望するのみ也。</p>	印刷。	A-18
<p>愛国同志会「民政党の諸君の反省を促す / 其党名及び綱領を改正せよ」</p>	ビラ。印刷。作成日は消印による。	B-70
<p>菅原通敏氏に面会仕候処貴下は小生の事に付種々御高配被下候由御厚情奉謝候。次の瀬戸へ下の一色西晋其他一ヶ所にて抱闊祝賀大演説会開催仕り何れも十六七八日迄之の完了の計画に御坐候。</p>	手書き。	A-4
<p>「自昭和元年至昭和十年の過去十年間毎年一月元旦定数表」に、「自昭和三年至昭和十年八年間に、共同店の成績」と題する説明書添付。備考として「本表の表す処によると共同店扱は過去十年間に四割五厘、本社直轄は二十八割三步の増加を示す。共同の増加の大部分は愛知郡部にして本社の活動による事多し。(梅田)「名古屋市内が十年前と大差なきは遺憾にして是非其制度組織の改善による増加を現出し得べく目下努力中(梅田)」とある。</p>	手書き。封筒に「販売部統計」の墨書き。	B-54
<p>9月8日付の電報入手致しました。名古屋博覧会に対する比島の役割については目下国会で委員会を開くことになっております。政府もこれに賛意を表していますからいつれ通知あることと思います。兎に角、此間の貴下並びに小生の努力に対して、比島は何かを為すであります。</p>	タイプ。マニラよりの書簡。英語本文の横にペン書きで日本語の訳文。	A-21
<p>昭和11年10月21日付藤屋ドライクリーニング本店請求書、領収書各1通、同年10月27日付葵タクシー請求書1通、同年10月29日付葵タクシー領収書1通、同日付南原宿睦町会費領収書1通、同日付木村宗治商店請求書1通、同日付海老屋領収書1通</p>	封筒に「葵タクシー」の押印。	A-11
<p>先般満州御視察のため御來京の節は一向に不申行届折角の御研究も如何かと気にかけて居りましたが御帰朝後は却って御懇篤なる御書面恐縮に存して居ります。さて、御研究の南進か、北進乎の問題如何になりましたでせうか。二股、両天秤は我が国人の容れるを喜ばぬ政策ですが、此際二股どころか三股も四股もある政策必要の様に思はれます。当地は御出発後頃より産業五ヶ年計画が具体化し目下その立案折衝で各省大童です。五ヶ年計画の底に流れるものは、将来の日ソ又は満ソ開戦です。従て吾々は将来の産業の興隆を想像すると同時に或種重大な覚悟もして居なければならん様に思はれます。尤もこの事により将来の戦争が回避されれば之れに越した事はありませんが、一般は左様な事に向無関心で此冬を迎へんとして居ります。</p>	手書き。新京よりの書簡。作成年は封筒記載による。	B-36
<p>物故憲政功勞者表(我が党と直接間接の關係を有して既に他界せる貴衆両院議員一覽)</p>	印刷。	B-18
<p>12月15日分御料理代・御飲物代・煙草代・外に小物代・給仕御手当、計128円78銭也</p>	作成年号は封筒記載による。	A-2

資料番号	小分類	資料名	形態	数量	作成年月日	作成者・差出人名	受取
10	書簡	〔加藤政之助書簡〕	状	2	〔昭和〕13年2月7日	加藤政之助	小山松寿
11	書簡	〔(紀元二千六百年奉祝会長)徳川家達書簡〕	状	2	昭和13年3月17日	(紀元二千六百年奉祝会長)徳川家達	小山松寿
12	書簡	〔日独伊防共協定強化同志事務所書簡〕	状	3	昭和13年3月18日	日独伊防共協定強化同志事務所	小山松寿
13	書簡	〔荒川五郎書簡〕	状	3	〔昭和〕13年3月21日	荒川五郎	小山松寿
14	書簡	〔(自治制発布五十周年記念会長)小橋一太書簡〕	状	2	昭和13年3月23日	(自治制発布五十周年記念会長)小橋一太	小山松寿
15	書簡	〔(靖国神社臨時大祭委員長)大角岑生書簡〕	状	2	昭和13年4月	(靖国神社臨時大祭委員長)大角岑生	小山松寿
16	書簡	〔牧野良三書簡〕	状	2	〔昭和〕13年4月3日	牧野良三	小山松寿
17	書簡	〔佐藤岩吉書簡〕	状	2	昭和13年4月16日	佐藤岩吉	小山松寿
18	書簡	〔(名古屋女子商業学校校長・名古屋第二女子商業学校校長)市邨芳樹書簡〕	状	2	昭和13年5月21日	(名古屋女子商業学校校長・名古屋第二女子商業学校校長)市邨芳樹	小山松寿
19	書簡	〔立憲民政党領収書〕	状	2	昭和13年7月13日	立憲民政党本部	小山松寿
20	書簡	〔田中善立書簡〕	状+綴	1+1	〔昭和〕13年8月20日〕	田中善立	小山松寿
21	書簡	〔伍堂卓雄書簡〕	状	2	〔昭和〕13年8月〕25日	伍堂卓雄	小山松寿
22	書簡	〔田淵豊吉書簡〕	状	2	昭和13年9月18日	田淵豊吉	小山松寿

内 容	備 考	原秩序 番号
貴族院在籍十年、衆議院在籍三十年、前後四十年議會勤続の者に候得共、在籍両院に分割の為紀元節の表彰に漏れることは不公平。公平な御取扱の意は無いか。小生名利に熱なる者でないので、強くは望まない。	手書き。作成年号は内容による。	A-5
紀元二千六百年奉祝会顧問ヲ囑託ス / 紀元二千六百年奉祝会総裁大勲雍仁親王	印刷。	B-57
来る三月十九日午後三時二十五分、イタリア親善使節団御一行東京駅着のご予定に付き、当時刻東京駅へ御出迎被下度。追て東京駅入場券及び徽章同封御届申上候。	印刷。東京駅入場許可証同封。	A-16
去る20日、東朝の記事によれば小生に終身パス付与下さる事を各派交渉会の義に付し下され候由御厚意に感激此事に御座候。多大の便利を得候。深く感謝奉り候。	手書き。作成年号は内容による。	A-13
来る四月十七日は自治制発布五十周年記念日に相当り之を慶祝し併せて自治及び国民精神の作興を期する為東京府、東京市、全国市長会、全国町村長会、財団法人中央報徳会、財団法人東京市政調査会、選挙粛正中央連盟及国民精神総動員中央連盟の八団体にて記念会を組織し別記事業を行ふこと、相成候。就ては貴台を本会名誉顧問に推戴申上度候条御承諾相煩し度此段御願申上候。別段の御回示無之候は、御了承の儀と心得申すべく。	印刷。	B-78
今般靖国神社臨時大祭二付、清酒壺樽御奉納相成感謝ノ至ニ奉存候。	印刷。	B-34
貴衆議院の書記官長が勅撰になったことは、まことに喜びに堪えません。尊台の格別のご尽力あることを思い、感謝に堪えません。	手書き。作成年号は内容による。	A-15
二十五日の御都合如何など案じ申上候て一昨日大野支部長に拜面打合も致し先生の御都合も今一応御打合せ候様申上置候。	手書き。	B-39
今回憲法発布式之因両校へ各一紙教養に資すべく御惠贈之栄を担い謹んで拝物仕り深甚之御芳情に対し厚く御礼申上候。	手書き。	B-23
昭和13年7月13日付「特別党費寄付」の但し書きで2500円の領収書	印刷、手書き。	B-40
田中善立『赤誠は奉公の警鐘をうつ』（「序文」早川鐵治）	小冊子。印刷。作成年月日は消印による。	B-42
目下滞軽中のヒトラー青年団を招き八月二十六日(金)午後七時軽井沢グラウンドロッヂにて晩餐会催し度候間御光臨賜り度此段得貴意候。(服装平服)御出席の有無は電話にてお知らせ下さり度。	手書き。作成年月は消印による。	A-10
小生四月より当地にて療養致しおりなかなか宜敷方に有之も尚療養打続け仕度、右に付き友人筑氏東京より御出下され相談申候義有之御多用中誠に恐縮ながら何卒同氏へ御引見下されたく委細同氏より申上げ候間何卒宜敷御配慮願度。	手書き。封筒裏面に「神奈川県湯河原 天野屋旅館」の印字、「都築氏持参」の筆書き。	A-19

資料番号	小分類	資料名	形態	数量	作成年月日	作成者・差出人名	受取
23	書簡	〔(明倫会総裁・陸軍大将)田中国重書簡〕	状	3	昭和13年9月27日	(明倫会総裁・陸軍大将)田中国重	小山松寿
24	書簡	〔大日本回教協会本部書簡〕	状	4	昭和13年9月30日	大日本回教協会本部	小山松寿
25	書簡	〔(早稲田尚学会)小山敬吾書簡〕	状	2	〔昭和〕13年10月15日	(早稲田尚学会)小山圭吾	小山松寿・ 小山幸子
26	書簡	〔自治擁護聯盟書簡〕	状	3	昭和13年〔11月30日〕	(自治擁護聯盟会長)小橋一太	小山松寿
27	書簡	〔(日独青少年団交驛会長・文部大臣・男爵)荒木貞夫書簡〕	状	2	昭和13年12月5日	(日独青少年団交驛会長・文部大臣・男爵)荒木貞夫	小山松寿
28	書簡	〔政界情報社書簡〕	状	15	昭和14年5月1～3日	政界情報社	小山松寿
29	書簡	〔愛国団体有志書簡〕	状	3	〔昭和15年2月20日〕	三島助治	小山松寿
30	書簡	〔大亜細亜協会同人・(大亜細亜協会同人代表)松井石根書簡〕	状	2	昭和15年2月22日	大亜細亜協会同人・(同代表)松井石根	小山松寿
31	書簡	〔(国民精神総動員本部理事長)堀切善次郎書簡〕	状+綴	2+1	〔昭和15年〕5月9日	(国民精神総動員本部理事長)堀切善次郎	小山松寿
32	書簡	〔(国民精神総動員本部理事長)堀切善次郎書簡〕	状+綴	2+1	〔昭和15年5月11日〕	(国民精神総動員本部理事長)堀切善次郎	小山松寿
33	書簡	〔(国民精神総動員本部理事長)堀切善次郎書簡〕	状	3	昭和15年5月	(国民精神総動員本部理事長)堀切善次郎	小山松寿



内 容	備 考	原秩序 番号
<p>進言。今や大戦乱勃発ノ処ナシトセス此際ソ聯直接参戦セサル場合ニ於テモ帝国トシテハ独逸側ニ積極的ノ好意ヲ表示スベキヤ勿論ナリ、然レトモ之ニ反シソ聯カ直接参戦スルカ如キ場合防共陣營ノ成敗ハ皇国ノ興廢ヲ左右スヘキ重大關係ヲ有スルヤ明ナリ、故ニ本会ハ帝國政府カ断乎国運ヲ賭シテ参戦スルノ重大決意ヲ固メ速ニ之ヲ中外ニ明示セラレントヲ要望ス。</p>	<p>印刷。封筒表面に親展の押印。同一の文書が2枚同封。</p>	B-12
<p>今度本会発会式に於て御推挙申上候役員の儀に就ては別紙会長より御依頼状差上候如く何卒御快諾の上今後本会の為め十分の御尽力を煩はし度御願申上候。</p>	<p>印刷。「大日本回教協会創立趣意書」、会長林銑十郎名義の同会評議員承諾依頼書同封(ともに昭和13年9月19日付)。</p>	B-30
<p>先日御聞きいたした話を本会機関紙「尚学」へ掲載御許可頂きたし。小生子供盲腸にて手術、これより信州に参ります。機関誌は香椎中將の題字。原稿校閲願います。</p>	<p>手書き。作成年号は内容(早稲田尚学会の設立期)による。</p>	A-1
<p>自治擁護聯盟会長小橋一太の署名で、小山を自治擁護聯盟名誉顧問へ推薦する推薦状。</p>	<p>印刷。作成月日は消印による。返信用承諾書同封。</p>	B-6
<p>来訪中のヒットラー・ユージェント派遣団は十一月十二日無事予定行事を終了の上神戸港出帆帰国の途に就き一方五月下旬神戸を出帆したる大日本独逸派遣団も其の重大使命を果たし一同恙無十一月十二日神戸上陸、十四日東京に於いて解団式を挙行致し茲に無事日独青少年団交驛の事業を完了したる次第、貴下御援助洵に感謝に堪えず此段厚く御礼申し上げ候。</p>	<p>印刷。</p>	A-17
<p>5月1日、2日付、3日付の政界関係報道の抜粋。</p>	<p>印刷。封筒に「五月一日政友騒動ノ件」の赤鉛筆書き。封筒記載の日付は5月1日だが内容は5月3日までの政界情報。</p>	B-3
<p>『国策評論』第2巻第2号(昭和15年2月20日発行)「齋藤隆夫の反戦利敵演説に就て/問題の重大性とその本質的解決策」</p>	<p>刊行物。印刷。封筒裏面に「責任者三島助治」の印字。維新倶楽部のポスター同封。日付は『国策評論』発行日による。</p>	B-20
<p>二月二日衆議院に於ける齋藤代議士の演説は、皇道の大義を冷嘲するの悖逆を取立てしたるものなり。吾人は此の種利敵言動を取立てしたる議員に対する処断の飽くまで峻烈にして翼賛の府の名分を正すべきを期待すると共に、政府は聖戦の意義を明徴にすべきことを要望するものなり。</p>	<p>印刷。</p>	B-8
<p>昭和十五年度歳入歳出予算二関スル件。五月八日開催ノ理事会ニ於テ昭和十五年度歳入歳出予算別添ノ通決定相成候条御高覧賜度御送附申上候也。</p>	<p>印刷。国民精神総動員本部「昭和十五年度歳入歳出予算案」同封。</p>	B-66
<p>発第一一号。戦時食糧報国運動実施方策送附二関スル件。五月十日開催ノ理事会ニ於テ決定相成候戦時食糧報国運動実施方策一部御送附申上候。</p>	<p>印刷。「戦時食糧報国運動実施方策」同封。</p>	B-68
<p>現下の米穀事情に鑑み当本部に於ては別紙の如く戦時食糧報国運動を実施する事と相成候に就ては農業報国聯盟と共同主催の下に全国道府県毎に協議会を開催して節米、供米、増産の急速なる実績を挙げ度候。ご協力賜度御願申上候。</p>	<p>印刷。「戦時食糧報国運動実施方策」同封。</p>	B-33

資料番号	小分類	資料名	形態	数量	作成年月日	作成者・差出人名	受取
34	文書	宣伝省設置ニ関スル 意見書・宣伝省設置 案理由書	綴	1	昭和15年8月23日	小山松寿	
35	書簡	〔(東洋協会会長)水 野錬太郎・(副会長) 永田秀次郎・(事務 理事)赤池濃書簡〕	状	3	昭和15年8月30日	(東洋協会会長)水 野錬太郎・(同副 会長)永田秀次 郎・(同事務理事) 赤池濃	小山松寿
36	書簡	〔小山武夫書簡〕	状	4	昭和15年12月3日	小山武夫	小山松寿
37	書簡	〔国民同志会準備会 書簡〕	状+綴	3+1	昭和16年2月8日	国民同志会準備会	小山松寿
38	書簡	〔農政研究会書簡〕	状	4	昭和16年3月1日	農政研究会	小山松寿
39	書簡	〔(国民同志会)菊池 武夫・葛生能久・入 江種矩書簡〕	状	3	昭和16年3月17日	(国民同志会)菊池 武夫・葛生能久・ 入江種矩	小山松寿
40	書簡	〔国民同志会書簡〕	状	3	昭和16年3月21日	国民同志会	小山松寿

内 容	備 考	原秩序 番号
昭和十五年八月近衛内閣総理大臣ニ建白セル宣伝省設置ニ関スル意見書(写)・宣伝省設置案意見書(写)	名古屋新聞東京支社の用紙にタイプ。	A-3
東洋協会は明治卅一年七月桂公爵によりて創設せられたる文化団体にして爾來四十有余年東洋に於ける政治経済文化の各分野に亘りて海外進出の事業を啓沃輔導し邦家の発展に微力を致して今日に至り候。現下本協会事業の概要は別紙「東洋協会の使命」に摘記致候通りに有之候。ついでには貴台の如き有力者の御賛同御協力を仰き度同人一切切望罷在候。幸に御快諾を辱うすることを得候は、乍御手数同封ハガキにて折返し御回答被成下度。	印刷。「東洋協会の使命」同封。	B-75
国民政府宣伝部宣伝事業司司长褚保衡氏を御紹介致します。氏は今回宣伝部所管の宣伝講習所第一期生五十余名を引率、日満両国視察の途に就かれることになりました。日本に於ては宣伝報道機関を中心に文化施設を視察する筈であります。恰も国民政府が明春より憲政実施を実現せんとしてある折柄、議事堂の見学でもお願い出来ましたら大いに裨益する所があらうと存じます。なほ、この宣伝講習所生徒は将来宣伝部を始め主要新聞社、通信社等に配置され、宣伝啓蒙の活動に従事すること、なっています。盟邦支那を双肩に担っている彼等を大いに激励して上げて頂けましたら幸いです。	手書き。封筒宛名横に「(褚宣伝部司长紹介状の代りに)南京にて 武夫」とペン書き、裏面に中央電訊社東京分社社長譚覚其の署名。譚覚其名義の便箋同封(12日付)。	A-20
一億一心鉄火の団結を以て時艱の克服に邁進するの要蓋し今日より急なるは無之痛感致候就ては茲に天下各階層同愛の士と共に挙国一致時艱克服国民同志会を結成し国民の大運動を展開して目的の貫徹に精進致度準備中の処別紙の如く愈々来る二月十三日(木曜)午後二時上野精養軒に於て先づ国民同志大会を開催するの運びに相成候間御参会賜り度御案内申上候。	印刷。「挙国一致時艱克服国民有志大会要綱」、「国民有志大会準備会宛て出席・欠席連絡」の葉書同封。	B-58
今期議会に於て政府は衆議院の要望に依りて食糧の増産確保のため新に三千万円の経費支出を言明するに至りたるは御同慶に堪えざる次第に有之候。而して本会亦其の責務を分担する精神に於て全国に遊説して農業報国精神の昂揚に努め食糧増産の実現に協力することに決定致候。即ち農林省の配意に依り衆議院議員を中心として道府県及農業報国聯盟地方支部主催を以て原則として各郡一ヶ所開催し之が実行は道府県に臨時世話人を設け一切の用務を処理願ふこと、致候。遊説は其県選出議員を以てし全議員の参加を求むることに致居り候に就ては此の際参加許否至急御回答相煩度候。	印刷。「食糧増産遊説団道府県世話人」、「食糧増産遊説団参加の件」諾否回答の葉書同封。	B-63
去る二月十三日上野精養軒に於て国民有志大会を開き国民同志会の結成を行ひ之を天下に公に致候。茲に本会の指標を定むると同時に顧問たるの御承認を相仰ぎ候次第なるが更に深甚なる検討を加へ時局即応の一大国民運動に発展すべく来る三月二十日午後五時より帝国ホテルに於て第一回実行委員会を開催し今後の具体的運動方針等決定致度存候。特に御臨席の榮を賜り度此段謹而御招待申上候。	印刷。顧問・実行委員名簿同封。	B-64
本会は昨廿日午後五時より帝国ホテルに於て第一回実行委員会を開き、菱刈、筑紫、小泉、佃、田鍋の各顧問、二子石、奥平、匠瑳、羽入、伊東各閣下並に三好、宮澤、原、多田、土倉、中野、川島、松田(外議員二十三名)、小山田、副島、入江、池田、鬼倉、瓜生、佐藤、夏秋等百二十余名の実行委員出席。八時散会せり。	印刷。国民同志会「指標」同封。	B-55

資料番号	小分類	資料名	形態	数量	作成年月日	作成者・差出人名	受取
41	書簡	〔東方会書簡〕	状	5	昭和16年5月27日	東方会・東方青年隊	小山松寿
42	書簡	〔翼賛議員同盟準備結成委員書簡〕	状	5	昭和16年8月26日	翼賛議員同盟準備結成委員	小山松寿
43	書簡	〔翼賛議員同盟理事詮衡委員書簡〕	状	2	昭和16年9月2日	翼賛議員同盟理事詮衡委員	小山松寿
44	書簡	〔翼賛議員同盟書簡〕	状	2	昭和16年9月9日	翼賛議員同盟	小山松寿
45	書簡	〔翼賛議員同盟書簡〕	状	3	昭和16年9月11日	翼賛議員同盟	小山松寿
46	書簡	〔翼賛議員同盟書簡〕	状	2	〔昭和16年〕9月18日	翼賛議員同盟	小山松寿
47	書簡	〔農村経済調査局書簡〕	状	3	昭和16年9月19日	(農村経済調査局理事)小畑虎之介、(同主幹)森徳久	小山松寿
48	書簡	〔(農村経済調査局)森徳久書簡〕	状+綴	2+2	昭和16年9月28日	(農村経済調査局)森徳久	小山松寿
49	書簡	〔(翼賛議員同盟総務部長)内ヶ崎作三郎書簡〕	状	3	昭和16年10月22日	(翼賛議員同盟総務部長)内ヶ崎作三郎	小山松寿
50	書簡	〔財団法人桜田会書簡〕	状	4	昭和16年10月30日	〔財団法人桜田会〕	小山松寿

内 容	備 考	原秩序 番号
<p>東方会、東方青年隊「声明」(責任者三田村武夫)「現在、財界の一部並に所謂現状維持陣営の一角に、国策の根本に悖り、事変処理の最高理念を忘却せる妄動あり。米国の対独参戦は、今や必死の運命となれり。我等は、祖宗の遺訓に照らし、現実日本の姿態を顧み、厳肅なる義憤に基きて、一大勇猛心を喚起する所なからず。」</p>	<p>リーフレット。印刷。同文4枚同封。</p>	<p>B-76</p>
<p>別紙宣言、指標、規約ノ通り衆議院議員同志ヲ以テ翼賛議員同盟ヲ結成致度候ニ付テハ右発起人ヲ御依頼申上候間何卒御承諾ノ上御尽力仰度願上候。尚創立総会開催致度候間御出席被下度此段御依頼尙得貴意候。</p>	<p>印刷。「規約(案)」、「宣言(案)」、「指標(案)」同封。</p>	<p>B-77</p>
<p>今二日会員総会ニ於テ御委任相成候翼賛議員同盟理事詮衡致候間御了承被下度候。</p>	<p>印刷。</p>	<p>B-72</p>
<p>今九日開会ノ総務委員、理事聯合会ニ於テ役員会定例日時ヲ左ノ通り変更致候間御了承被下度。(書簡左に変更日時列記)</p>	<p>印刷。</p>	<p>B-46</p>
<p>今般翼賛議員同盟本部ヲ設置致候ニ付テハ来ル九月十六日(火)午後二時本部ニ於テ別紙次第書ノ通り開所式ヲ挙行シ終ッテ茶話会相催シ候間御繰合セ御来臨被下度。</p>	<p>印刷。「翼賛議員同盟本部開所式式典次第」同封。</p>	<p>B-53</p>
<p>来二十三日(火)役員会当日ハ祭日ト相成候ニ付左ノ通開会日ヲ変更致候、一、九月二十四日(水)午後二時於本部役員会</p>	<p>印刷。作成年は前後資料の内容による。</p>	<p>B-7</p>
<p>先般帝国議会年報及び法律全集一組御贈呈申上げ候処其後各方面より保存用として堅牢なる製本を渴望致され候につき今回再製仕候就ては取敢一冊だけ御送付申上げ候。尚今後共毎議会毎に同一形態を以て発行致し度き所存に有之候迄に恐縮には存じ候へ共当局調査局一ヶ年分の贊助購読料として金拾円御恵送被下間敷候哉。</p>	<p>印刷。10円分の払込票同封。</p>	<p>B-2</p>
<p>仏印の農業、林業、漁業並に地下資源の開発を目標に国策会社の急設は国家の当面する焦眉の急務であります、これが具体的進展に伴ひ、指導的有為の人材を網羅して、大々的集団移動計画を樹立する必要があります。故に今後当調査局事業の一つとして、本問題の調査研究の経過を刻々と報道する考えであります。茲に仏印開発の趣旨及大綱案二部ほど御贈呈申上げました。</p>	<p>印刷。農村経済調査局「調査局情報(第一信)仏印産業開発問題」(1941年9月28日発行)2部同封。</p>	<p>B-41</p>
<p>(書簡1)一昨二十日本部ニ於テ臨時総務委員、理事連合会ヲ開キ協議ノ結果東条内閣ガ不動ノ国策ヲ強力ニ遂行セントスルニ対シ、我同盟ハ積極的ニ支持協力スルニ意見ノ一致ヲ見候ニ付昨二十一日島田外交特別委員長、大麻、岡田、清瀬三総務、多田理事ハ東条首相ニ会見致候間此段御報告申上候。 (書簡2)昨二十一日開会ノ役員会ノ議事経過ノ通二有之候間此段御報告申上候。一、長崎市会議員選挙実情調査ノ為本部ヨリ派遣セリ 高橋義次君・渡邊健君。一、北海道冷害視察並ニ慰問ノ為本部ヨリ派遣スルコトニ決定セリ。一、軍人援護対策審議会委員推薦ノ件。一、毎月会員総会開催ノ件。一、各地地方行政、民情視察ノ為本部ヨリ不日会員ヲ派遣スルコトニ決定セリ。一、十一月定例午餐会開会日繰上ゲノ件。一、左記通信六社事務室トシテ本部一室ヲ提供スルコトニ決定セリ。一、南米視察議員団長原惣兵衛君ヨリ視察談ヲ聴取セリ。</p>	<p>印刷。</p>	<p>B-74</p>
<p>「財団法人桜田会昭和十六年度収支決算書(自十五年七月一日至十六年六月三十日)」、「財産目録(昭和十六年六月現在)」、「貸借対照表(昭和十六年六月三十日)」。</p>	<p>印刷。</p>	<p>B-59</p>

資料番号	小分類	資料名	形態	数量	作成年月日	作成者・差出人名	受取
51	書簡	〔大新会書簡〕	状	2	昭和17年2月〔10日〕	大新会	小山松寿
52	書簡	〔(大政翼賛会名古屋支部支部長代理助役)佐藤正俊書簡〕	状	2	昭和17年2月	(大政翼賛会名古屋支部支部長代理助役)佐藤正俊	小山松寿
53	書簡	〔三木武吉書簡〕	状	2	昭和17年7月	三木武吉	小山松寿
54	書簡	〔工藤三郎書簡〕	状	2	昭和18年3月	工藤三郎	小山松寿
55	書簡	〔大政翼賛会愛知県支部書簡〕	状	2	昭和18年5月12日	大政翼賛会宣伝部	小山松寿
56	書簡	〔大政翼賛会愛知県支部長書簡〕	状	3	昭和18年5月27日	大政翼賛会愛知県支部長	小山松寿
57	文書	〔東京高等歯科医学校第一付属医院請求書等〕	状	7	昭和18年7～8月	東京高等歯科医学校第一付属医院事務	小山松寿
58	書簡	〔谷口恒二書簡〕	状	3	昭和18年9月16日	谷口恒二	小山松寿
59	書簡	〔衆議院調査課書簡〕	状	4	昭和18年9月17～28日	衆議院調査課	小山松寿
60	書簡	〔日本俱樂部書簡〕	状	2	昭和18年〔10〕月	社団法人日本俱樂部	小山松寿
61	書簡	〔財団法人桜田会書簡〕	状	2	〔昭和〕18年10月15日	財団法人桜田会	小山松寿
62	書簡	〔国粋同盟総本部書簡〕	状	2	昭和18年11月9日	国粋同盟	小山松寿
63	書簡	〔政界情報社書簡〕	状	6	昭和18年12月6日	政界情報社	小山松寿

内 容	備 考	原秩序 番号
『大新会会報』(昭和17年2月10日付)東舜英「第七十九議会に示されたる東条内閣の大東亜経綸」	刊行物。印刷。	B-19
貴殿に対し当支部顧問を東条総裁より委嘱相成候に就ては御承諾被下将来格別の御尽力を賜り度希上候。	印刷。	B-13
報知新聞と読売新聞とは合併を命ぜられ来る8月5日を期して『読売報知』新聞が発刊せらるゝこと、相成り申候。	印刷。	A-14
曩に議員名鑑購料全額分前納として振替用紙同封の上御依頼の手紙差上置候へ共諸事御多端の事故御取紛れの事と存じ候。誠に申兼ね候次第ながら重ねて御振込方御願申上度貴意得申候。	印刷。	B-29
『大政翼賛』第115号(昭和18年5月12日発行)	刊行物。印刷。	B-52
委嘱状伝達ノ件。委嘱状本日漸く到着仕候につき同封送付申上候間御受納相成度候。	印刷。(大政翼賛会総裁)東条英機名義の「愛知県支部顧問委嘱状」(昭和18年2月1日付)同封。	B-62
東京都高等歯科医学校第一付属医院7月30日付金十円二十銭請求書1通、8月26日付同額領収書1通、8月24日付小為替金領収書2枚、8月26日付領収書1通、7月30日付特別診療明細書1通。	手書き(「大日本帝國政府」罫紙にペン書き)。	A-9
目下新聞社屋移転に付経緯御通報賜り委細篤と諒承仕候。時局に鑑み適當の御考慮に申し候外無。万事は戦勝後を期し度候。	手書き。	A-7
9月22日議会運営調査委員会小委員会開催通知、9月23日議会運営調査委員会小委員会開催通知、10月6日議会運営調査委員会小委員会開催通知。	印刷。封筒表面に「議会運営調査委員会開催通知」の朱印。10月6日開催通知のみ末文に「本小委員会ハ最終ノ小委員会ト可相成ニ付」云々と墨書き。	B-21
日本倶楽部昭和十八年十月諸会予定表	印刷。作成月は内容による。	B-15
財団法人桜田会理事瀧沢宇八君養生不相叶、昨十四日郷里千葉県佐原町ニ於テ逝去被致候間此段御通知申上候。追テ葬儀ハ来ル十九日午後一時ヨリ三時マデ佐原町常国寺ニ告別式當マレ候。尚花輪ヲ贈呈致シ置候間御承知被成下度、金十三円也会計課ニ御払ヒ込被下度候。	印刷。作成年号は内容による。	B-35
進言書。思想戦必勝への道、此際断乎、基督教諸学校を神州の聖土より根絶せよ。責任者菊池大八。	ビラ。印刷。封筒表面に至急親展の押印、裏面に「国粋大衆党総本部」の印字(「大衆党」を赤2本線で「同盟」に修正)。書筒中2行分墨塗り。	B-5
昭和18年12月6日付「◎時局担当の金融界の旧人新人(五)/森広蔵氏の巻(下)」◎決戦議会は即協力議会/議案審議は正味十日で足る(小山松寿氏談)」「都会議員有志の發議に係る/帝都防衛飛行隊の大構想/軍当局も趣旨には賛成?」	印刷。作成者は封筒記載による。	B-25

資料番号	小分類	資料名	形態	数量	作成年月日	作成者・差出人名	受取
64	書簡	〔桜田会内世話人書簡〕	状	2	昭和(18年)12月7日	桜田会内世話人	小山松寿
65	文書	〔政界情報社領収書〕	状	2	昭和18年12月9日	政界情報社	小山松寿
66	書簡	〔水産代議士会発起人書簡〕	状	3	昭和18年12月10日	水産代議士会発起人	小山松寿
67	書簡	〔大民新聞社書簡〕	状	3	〔昭和18年12月10日〕	大民新聞社会計課	小山松寿
68	書簡	〔(翼賛政治会政務調査会会長)金光庸夫書簡〕	状	3	昭和18年12月16日	(翼賛政治会政務調査会会長)金光庸夫	小山松寿
69	書簡	〔東亜国政社書簡〕	状	2	昭和18年12月16日	東亜国政社	小山松寿
70	書簡	〔新論社書簡〕	状	3	昭和18年〔12月17日〕	新論社	小山松寿
71	書簡	〔政界情報社書簡〕	状	8	昭和18年12月20日	政界情報社	小山松寿
72	書簡	〔(翼賛政治会政務調査会会長)金光庸夫書簡〕	状	2	昭和18年12月20日	(翼賛政治会政務調査会会長)金光庸夫	小山松寿
73	書簡	〔(海外同胞中央会理事長)奈良晃・(海外同胞援護資金制度設置研究委員会委員長)末次信正書簡〕	状	4	昭和18年12月20日	(財団法人海外同胞中央会理事長・陸軍中將)奈良晃・(海外同胞援護資金制度設置研究委員会委員長・海軍大将)末次信正	小山松寿
74	書簡	〔翼賛政治会事務局書簡〕	状	2	昭和18年12月〔22〕日	翼賛政治会事務局	小山松寿



内 容	備 考	原秩序 番号
来ル十三日午後五時半ヨリ今回南洋方面ニ御出張被致候小川郷太郎君ヲ御招待申上一タ歎談相催シ度候間御出席被成下度此段得貴意候。	印刷。作成年は封筒記載による。	B-16
昭和十八年十二月九日付下半期購読料五十円領収書		B-10
水産国策ノ樹立ニ寄与スルタメ今般水産代議士会ヲ結成致度相談相進メ候ニ就テハ右趣旨ヲ御賛同御入会ノ上何卒御支援賜リ度。本月二十日迄ニ賛否御回報相煩度申添候。	印刷。水産代議士会結成の賛否を問う返信用葉書同封。	B-22
日頃御愛読を賜り居り候「大民」御購読料何卒御払込被下度御願申上候。	印刷。書簡後半は大民新聞の広告文(防共強化同志代表安保清種、頭山満、徳富猪一郎の署名)。払込票一式同封。作成年月日は消印による。	B-43
第八十四回帝国議会政府提出法律案(要綱決定分)事前審査会開催ノ件。主題ノ件別添ノ日程ニ依り翼賛政治会本部第五会議室ニ於テ開催致候条御出席被成下度此段及御通知候也。	印刷。「政府提出法律案事前審査会開催日程」同封。	B-9
弊社発行の雑誌(東亜国政)先般来御高覧を仰ぎ居り候に就ては甚だ恐縮に御座候得共御支援の意味に於て御購読御送金を煩し度。	印刷。	B-49
弊社「新論」義「民政」以来多大なる御後援を辱し御蔭を以て凡ゆる難関を突破し今日あるを得候、就ては従来通りの御懇情を以て十八年度分金十五円也御手数にて誠に恐入候得共同封振替用紙にて御払込み被下度。	印刷。昭和18年度賛助購読料払込用紙一式同封。作成年月は封筒記載による。	B-51
昭和18年12月20日付「◎時局担当の / 金融界の旧人新人(一七) / 明石照男氏の巻(下)」, 「◎許認可事項の整理を契機として / 農商行政の画期的指導転換 / 地方庁、民間機関の責任重加」、 「◎院内代議士会の矢面に立つ人 / 津雲三好級では巧く捌きがつくまい / 更に重みのある大臣級人物を」、 「◎両院議員多数にも有難き恩賞 / 廿一日議長室で勲章伝達式」、 「◎翼政会の事前審議開始さる / 先づ農商関係より連日続開」。	印刷。	B-47
政調第五〇三号。第八十四回帝国議会政府提出法律案事前審査会開催ノ件。大蔵省所管事項其ノ他ノ法律案二付夫々政府当局ノ説明ヲ聴取スルコト、致候条御出席被下度。日時十二月二十四日午後一時開会。場所翼賛政治会本部。	印刷。	B-69
海外同胞援護資金制度設置研究委員会小委員会委員委嘱及第一回小委員会開催の件。去る十二月二日帝国ホテルに於ける二回委員総会の決定に基き別紙の通り委員長並に副委員長も決定致し且つ当日の議決に依り小委員会を設置、具体的研究も進め度と存じ候に就ては貴殿を小委員として御委嘱申上度御承認を賜候様書中乍略儀御願申上候。	印刷。「財団法人海外同胞中央会 海外同胞援護資金制度設置研究委員会芳名」、出欠葉書同封。	B-79
院内費用払込方依頼ノ件。第八十四回帝国議院内費用トシテ金三十円也御負担ヲ願フコトニ決定相成候。本月末迄ニ御払込被下度此段得貴意候。	印刷。資料記載の宛名は翼賛政治会所属衆議院議員各位。作成日は消印による。	B-11

資料番号	小分類	資料名	形態	数量	作成年月日	作成者・差出人名	受取
75	書簡	〔(新論社)池田■爾書簡〕	状	3	昭和18年12月28日	(新論社)池田■爾	小山松寿
76	書簡	〔(故助川啓四郎君農政彰徳碑建立ノ会委員長)仙石興太郎書簡〕	状	4	昭和19年1月5日	(故助川啓四郎君農政彰徳碑建立ノ会委員長)仙石興太郎	小山松寿
77	書簡	〔農政研究会書簡〕	状	4	昭和19年2月5日	農政研究会	小山松寿
78	書簡	〔農政会書簡〕	状	3	昭和19年3月25日	農政会	小山松寿
79	書簡	〔(翼賛政治会)金光庸夫・関屋貞三郎書簡〕	状	2	〔昭和19年〕2月5日	(翼賛政治会)金光庸夫・関屋貞三郎	小山松寿
80	書簡	〔經濟議員聯盟書簡〕	状	3	昭和19年3月30日	經濟議員聯盟	小山松寿
81	書簡	〔(永楽俱樂部会長)松平頼寿書簡〕	状	2	昭和19年4月	(永楽俱樂部会長)松平頼寿	小山松寿
82	書簡	〔中央農業会農政会内故助川啓四郎君農政彰徳碑建立ノ会書簡〕	状	3	昭和19年〔4月8日〕	中央農業会農政会内故助川啓四郎君農政彰徳碑建立ノ会	小山松寿
83	書簡	〔翼賛政治会書簡〕	状+綴	2+3	昭和19年5月	翼賛政治会	小山松寿
84	書簡	〔(大東亜省)一宮房次郎・木村正義・依光好秋書簡〕	状		昭和19年5月9日	(大東亜省)一宮房次郎・木村正義・依光好秋	小山松寿
85	書簡	〔翼賛政治会書簡〕	状	2	昭和19年5月18日	翼賛政治会	小山松寿

内 容	備 考	原秩序 番号
今回は多額の御援助金を賜り御厚志誠に難有拝受仕候。不取敢以寸稿御礼申置度如斯御坐候。	「『新論』賛助料」100円の小山宛領収書(昭和18年12月28日付)同封。	B-60
故助川啓四郎君ノ農政ニ残セル功績ヲ顕揚スル為メ農政彰徳碑建立ノ發議有之、農村議員同盟他有志間ニ於テ協議中ノ処十二月十三日「故助川啓四郎君農政彰徳碑建立ノ会」ヲ設置シ別紙ノ通り建立計画書策定致候。貴殿ヲ農政彰徳碑建立發起人トシテ御依頼申上度存候。	印刷。「彰徳碑建立趣意書案」、「建立ノ会事業計画書」同封。	B-37
衆議院内農政関係団体の一体化は年来の問題に有之、懇談協議の結果農政研究会及農村議員同盟は何れも解散し新に農政会(仮定)を組織するを可とすることに意見一致仕候。来る本月十日を期し各々総会を開きて解散を了し同時に新団体を設立することに相運び度所存に有之候。	印刷。「農政会会則(案)」、「緊急総会開催通知ノ件」同封。資料記載の差出人は「農政会(仮定)設立世話人」。	B-48
臨時総会及其後ノ経過通知ノ件。去ル3月20日午前11時ヨリ翼賛政治会第五会議室ニ於テ本会臨時総会ヲ開催、今期議會ニ戦時食糧確保ニ関スル決議案提出方翼賛政治会ニ要請ノ件ヲ附議。同日午後翼賛政治会農商委員会ヲ開催。二十三日前田総務会長ハ議會役員ニ語りテ「戦時食糧非常措置ニ関スル特別建議案」トシテ提出スルコトニ裁定。二十四日ノ衆議院本会議ハ本建議案ヲ緊急上程シ、趣旨弁明ニハ政務調査会長金光庸夫氏が起テ、之ニ対シ政府ヲ代表シテ内田農商相ヨリ趣旨実現ニ対スル言明有之候。	印刷。「戦時食糧非常措置ニ関スル建議」同封。	B-31
至急御面会の上御懇談申上度儀有之候に就ては来る九日午後二時衆議院議長応接室迄御光臨給り度此段御案内申上候。	印刷。作成年は消印による。	B-71
本聯盟昭和十八年度会費金二十円振替貯金口座ニ御振込ミ被下本日正ニ入帳仕候。右領収証茲許御同封申上候。	印刷。書面右上に領収書添付。	B-24
当倶楽部の経営上には政府今度の決戦非常措置要綱の趣旨に即応すべく差当り館内の施設配置を改善整備の上可成簡素実用化する事等、実施の上将来必要に応じ更に善処致す事に相成候。	印刷。	B-17
故助川啓四郎君農政彰徳碑建立計画ニ御賛同被下早速基金御申込賜難有御厚礼申上候。本月下旬農政彰徳碑建立世話人会ヲ開催シ事業計画具体化ニ関シ打合せ事ニ相成候段感謝ニ不堪候。	印刷。醸出金受領書(昭和19年2月付)同封。作成月日は消印による。	B-14
国民総蹶起運動実施要項等送付ノ件。予ネテ御諒承ヲ得候国民総蹶起運動別添要綱並ニ実施方法細目等ニ基キ夫々実施致スコト相成候条御了承ノ上特段ノ御協力相煩度此段得貴意候。	印刷。「国民総蹶起運動実施要項」、「国民総蹶起運動実施方法細目」、「国民総蹶起運動発足総会」同封。	B-56
官文号外ノ發起人 一宮房次郎ノ木村正義ノ依光好秋ノ今般村田大使帰朝を機会に同大使を中心として左記に依り有志代議士懇談会開催致すことと相成候に付此段及御案内候也ノ記ノ一、日時 十六日午後三時ノ一、場所 大東亜大臣官邸	印刷。	B-61
国民総蹶起運動資料送付ノ件。表記資料茲許御送附申上候間御査収被下度申上ル迄モナク本資料ハ今般全国ニ実施ノ国民総蹶起運動ノ展開ニ際シ之ガ指導上御諒得ヲ得置度事項ニ有之自然「極秘扱」ノモノニ御座候条之ガ取扱ニ関シテハ左記特ニ御留意賜度。	印刷。	B-26

資料番号	小分類	資料名	形態	数量	作成年月日	作成者・差出人名	受取
86	書簡	〔(翼賛政治会)加藤鏝五郎書簡〕	状	2	昭和19年11月15日	(翼賛政治会)加藤鏝五郎	小山松寿
87	書簡	〔政界情報社書簡〕	状	6	〔昭和19年〕11月28日	政界情報社	小山松寿
88	書簡	〔(大政翼賛会名古屋支部支部長)佐藤正俊書簡〕	状	3	昭和20年4月	(大政翼賛会名古屋支部支部長)佐藤正俊	小山松寿
89	書簡	〔松村謙三書簡〕	状	2	昭和20年5月1日	松村謙三	小山松寿
90	書簡	〔日本進歩党党務部書簡〕	状	2	昭和20年12月1日	日本進歩党党務部	小山松寿
91	書簡	〔(政界情報社)宮手敬治書簡〕	状	3	〔昭和20年〕12月25日	(政界情報社)宮手敬治	小山松寿
92	書簡	〔日本進歩党愛知県支部結成連絡委員)小山松寿・加藤鏝五郎・野田正昇書簡〕	状	2	〔昭和20年〕12月29日	(日本進歩党愛知県支部結成連絡委員)小山松寿・加藤鏝五郎・野田正昇	小山松寿
93	書簡	〔(日本進歩党幹事長)鶴見祐輔書簡〕	状	2	昭和21年1月19日	(日本進歩党幹事長)鶴見祐輔	小山松寿
94	書簡	〔(日本進歩党党務部長)野田武夫書簡〕	状	2	昭和21年1月26日	(日本進歩党党務部長)野田武夫	小山松寿

内 容	備 考	原秩序 番号
昭和十九年度衆議院陸海軍病院慰問に関し名古屋師団管区慰問代表として小生指名相受候に左記に依り実施致候条便宜参加相願度此段得貴意申候。追て準備の都合有之候間同封葉書に依り御回示願上候。/日時 十一月廿一日(火)午前十時愛知県知事応接室集合/順序 護国神社参拝、師団司令部訪問、臨時名古屋第二陸軍病院並名古屋陸軍病院慰問正午終了の予定。	印刷。	B-65
昭和19年11月28日付「○戦力増強に挺身する人々(四四)/外国依存を打破した/不二越鋼材社長井村荒喜氏(三)」、「○地方会員の獲得には/その必要性の闡明が先決問題/翼政会の新代議士は斯く語る」、「○労務管理不十分な工場には/不良徴士が最も多い/適当な対策要望さる」、「○全国各地に地方農政懇談会/農政会翌年一月から開催」、「○貴族院の懇話会は/議会運営に重点を置く/政治的活動には触れず」	印刷。作成年は封筒記載による。	B-45
去る三月三十一日を以て御任期は一応満了致すこと、相成候へ共時局緊迫の今日甚だ御迷惑乍ら貴殿に対し従来通り引続き役員、協力会議員として御願ひ申上度候。	印刷。大政翼賛会愛知県支部長・愛知県知事吉野信次名義の給与支払い通知、領収書(昭和20年4月19日付)同封。	B-32
今般大日本政治会の発足に当り幹事長の任を承り候に就ては微力に候得共正心誠意会務に軼掌仕る所存に有之候。	印刷。	B-27
此の際各府県に於ける党支部を急速に結成致すべき必要有之候条貴県に於て勧誘すべき県会議員其の他地方有力者の氏名議員各位に於て可然御打合せの上党務部迄御回答相煩度此段御依頼申上候。	印刷。	B-38
歳末も切迫致し候に付御多忙中誠に恐縮に存候へ共別紙購読料特に御配慮賜はり度此の段奉願候	手書き。下半年分通信購読料として50円の請求書同封。作成年は消印による。	B-67
日本進歩党愛知県支部結成に就いて左記より準備委員会を開催候につき御出席下され度。日時 昭和二十一年一月五日午後正二時、会場 名古屋市役所二階議員控室	印刷、末尾宛名のみ筆書き。作成年は内容による。	B-1
去る1月4日附米国司令部よりの指令に関しては本部に於いて種々研究致し且つ適當の処置を講じ居候、右指令の適用範囲に付ては政府に於てはこれを最小限度に局限の主旨にて交渉中の事と推測致され候。我党としては日本政界の安定勢力結集を目標として敢闘致度存申候。尊台に於かれ候ても右主旨御了解の上御健願度、万一指令に職名等名記しある等の関係上立候補不可能と御思考被遊候場合に於て後継者等につき御計画有之候際にも右御決意の前に一応当方に御内意御漏し被下度願上候。尚選挙は3月20日頃ならんかと存ぜられ候。	印刷。	B-44
支部結成に関する件。衆議院議員総選挙も近く施行せらる可きに付各都道府県に於ては党勢拡張上よりするも支部結成を至急進捗せしむるの要痛感せらる次第に有之候。就ては貴地方支部結成の進捗状況御一報被下度候。尚支部結成の上は事務所々在地、役員名、規約並に其他必要なる事項を速かに御報知被下度。	印刷。	B-50

資料番号	小分類	資料名	形態	数量	作成年月日	作成者・差出人名	受取
95	書簡	〔(財団法人桜田会理事長)町田忠治書簡〕	状	1	昭和21年2月6日	(財団法人桜田会理事長)町田忠治	小山松寿
96	書簡	〔(日本進歩党)鶴見祐輔書簡〕	状	2	昭和21年2月15日	(日本進歩党幹事長)鶴見祐輔	小山松寿
97	書簡	〔東洋経済新報社書簡〕	状	3	昭和21年3月	東洋経済新報社	小山松寿
98	書簡	〔羽田武嗣郎書簡〕	状	2	昭和21年5月18日	羽田武嗣郎	小山松寿
99	書簡	〔野田正昇書簡〕	状	2	〔昭和〕5月4日	野田正昇	小山松寿
100	書簡	〔細川亨介書簡〕	状	3	〔昭和〕11月4日	細川亨介	小山松寿
101	書簡	〔加藤厚太郎書簡〕	状	2	〔昭和〕12月24日	加藤厚太郎	小山松寿
102	書簡	〔同盟通信社中支総局書簡〕	状	5	〔昭和〕	同盟通信社中支総局	小山松寿
103	文書	〔董其昌の経歴〕	状	3			

内 容	備 考	原秩序 番号
財団法人桜田会新館補修工事大略落成に付き、一度御参集御協議請願度き件あり、十二日午後二時より本会館にて評議員会開催に付き御出席賜り度御案内申上候。	葉書に印刷。	A-12
立候補二関スル件。前衆議院選挙ニ際シ推薦候補タリシ向ハ今次総選挙ニハ立候補ヲ遠慮スベキヲ適当ト思考致候、就テハ推薦候補ニシテ資格確認申請書ヲ提出シ若シ却下セラレタル場合ハ指令該当事ト向様ノ取扱ヲ受クベキ模様ニ有之候条推薦候補ニシテ申請書ヲ提出セラレタル向ハ至急地方庁ヲ通ジ其取下ノ手続ヲ進メラレ度又速ニ新候補者ヲ物色シテ擁立シ国家安定■大政治勢力■ニ邁進セラレ度此段得貴意申(以下判読不能)	印刷。印刷薄く判読不能箇所あり。	B-4
「日刊経済」発刊の趣旨。「日刊経済」は第一に、週刊誌の時間的に企て及ばぬ速報的使命を達するのが目的であります。併し「日刊経済」は、週刊誌の単なる速報版ではありません。日報独自の編輯方針と内容とを御期待願います。各位の御諒解と御支援を賜り得れば幸の至りであります。	印刷。封筒にGHQによる開封跡。入会申込書同封。	B-73
扱て本日は真空管の事にておたづね有之候も甚粗末乍ら拝呈候次第、何卒御おさめ願ひ上候。実は小生二月十一日來の風邪かなほったり引なほしたり肺炎になりか、つたり中耳炎をやり全く不健康をつゞけ今日に至り御地に御たづね願御機嫌を伺はねばと存じ乍ら家にもつて今日になり候次第御無沙汰の段御ゆるし被下度候。折角つゞじの御案内を頂戴致乍ら右様の次第六月になつたら御たづね出来種々御清談拝聴を楽しみに致し居り候。	手書き。封筒にGHQによる開封跡。	B-80
御承知之通り大日本政治会地方支部結成の爲県下代議士に其準備方委囑相成候処本日電報を以て老生に各位の御集合を煩す様手配可致本部より御通報有之候処県農業会本部は先月十二日空襲の災厄に罹り目下安城町へ移転致居随て名古屋近郊にて御集合の場所撰定の困難を感じ漸く左記の所に決定仕候。御多用中殊に交通上御迷惑とは存候得共正刻御集合賜り度。	印刷。	B-28
御不在中に帰京致しました、種々の御厚訓深謝致します。◎次に強力に御推薦申上げたき早大の教授有之候か目下は高等師範部の教務主任に候へ共、高等学院長とするも高師部長、文学部長とするも学問及社交性に於て、現早大教授団中には屈指の人物と思はれ候へば、是非共時に或は折にふれ御厚配何とぞ小生自己の観察より御願ひ申上候。高等師範部教務主任(専攻国文学、佐々木八郎氏)、師範大学と昇格の腹案などもあるらしく何卒御引見、御閑読の何とぞ祈上候。	手書き。作成年号は内容(佐々木八郎の早大高等師範部教務主任在任時期)による。	B-81
み事なる大根御患贈下さり辱受納致し候。相変わらず御厚情の程深謝致し候。	手書き。	A-6
周次長(中山君)に左の件電話にてご依頼乞う。(1)岸道三昨日来滬、24日夜着寧予定。25日中に汪先生御都合つけ、会って下されば幸い。岸君は一昨年近衛さんの御使いで汪先生に会っており、中山さんとも初対面ではない(2)板垣閣下の副官にも同じく岸君來寧を伝え、汪先生との面会時間に被らぬように面会させ度。(3)小生日曜3時の放送協会理事會に間に合うよう赴寧。岸君と汪先生、板垣さんとの会見には小生も出席する心算にてその旨中山さんと副官にお伝えください。(板垣さんはどうでもいいか)	手書き(南京首都飯店の便箋にペン書き)。封筒に至急の朱墨書き。作成年号は内容による。	A-8
『支那人名辞書』、『大百科事典』に依った董其昌に関する文章。	手書き(衆議院の罫紙にペン書き)。衆議院の封筒に「董其昌書」と墨書き、「明代」と朱墨書き。	B-82